

みんなの協力で、子どもたちが心のケアを受けられる社会へ。



サポチル関東 研修受講のヒント

どの研修を受けようかと迷ったら

Q1: 精神分析的心理療法を学んでみたいけれど、どこから手をつけたらいいのだろう?

A1: まずは、フロイト講読セミナー、初学者向けワークディスカッション(WD)がおすすめです。臨床経験年数は問わず、これから学びんでいきたい方のニーズに応える研修です。(WDは、子どもの精神分析的心理療法の普及のため、他の基幹研修よりも少し割安に設定しています。)

Q2: 子どもの精神分析的心理療法について、どのような考えや実践なのか知りたい。

A2: 臨床セミナー、単発ワークショップがおすすめです。臨床セミナーでは、現代の子どもの臨床に欠かせないトピックや臨床課題を探求しています。今年度の単発ワークショップは、『思春期青年期ワークショップ』です。自分の臨床現場以外のケースをもっと知りたい方は、GSVもおすすめです。

Q3: 面接、授業観察や親面接等多様なSC活動に精神分析的思考を活かす研修はないか?

A3: スクールカウンセリングに特化したワークディスカッション形式の SCGSV を開講しています。スーパーバイザーは、多様な職場に精神分析を応用する実践に造詣が深い鈴木誠先生です。また、初学者向けWDの講師小笠原貴史先生もSC経験が豊富です。

Q4: これから心理療法を学んでいきたいけれど、構造化された心理療法を行う場を持たない場合はどうしたらよいか?

A4: 乳幼児観察、初学者向けWDがおすすめです。精神分析的視点や態度を体験しつつ、身につけることができます。

Q5: 精神分析は学んでいるものの、クライン派はまだよく知らない。

A5: クライン、ビオン、現代クライン派の文献講読セミナーを毎年順に開催しています。今年度は、現代クライン派講読セミナーを開催します。基本から幅広く学べます。

Q6: 個別の子どもの心理療法ケースについて専門的な指導を受けたい。

A6: GSVがおすすめです。グループで継続的に自身や他者の事例を検討することを通して、精神的に考える力や視点を包括的・実践的に学ぶことができます。

Q7: 現在子育てや介護のために実践から離れているが、何か受けられる研修はあるか?

A7: 比較的参加しやすいのは、オンライン開催の臨床セミナー、文献講読セミナーでしょうか。実践の感覚にふれ継続性を保つことにつながればと思います。

Q8: 色々な研修を受けていきたい。何か割引制度はないか?

A8: サポチルの会員になると、受講料の割引があります。また、会員には、定期のメールマガジンや会報、求人情報(不定期)が届きます。会員対象の研究会もあり、横の繋がりができます。正会員の年会費は1万5千円です。

募集要項: <https://sacp.jp/2023/12/10/2396/>

申込: <https://forms.gle/HfEsQk6RWTod4aac9>

※お問い合わせ: kanto.kenshu@sacp.jp